果して高壓は來れり
友愛會勞友會の幹部
六人召喚取調を受く

長崎控訴院小川檢事長足立常松の兩檢事正初め各檢事集り來る

製 鐵所の罷業は工場閉鎖に依つて惡化する傾向を帶び來り官憲は警戒網を張つて非常に備へて居たが暴行事件頻出して檢束者漸次數を加ふるに及び**長崎控訴院より小川檢事長は常松檢事正を伴ふて來幡し**福岡檢事局よりも足立檢事正以下金子、阪本、林各檢事來援して調査に力むるに到り一方昨記の如く國粹會を首め各團體の調停運動あり其推移如何を注目されて居たが廿七日深更から廿八日早朝にかけ

官 憲は突如として勞友、友愛兩會の幹部即ち木村錠吉、加藤勘十、池田三八、齋賀敬、藤岡文六、藤田俊次郎の六氏を召喚し取調べに着手するに到つた。**勞友會は前回の罷業に際して殆んど其主腦幹部を拉致さるゝあり**其後は代理會長たる東京毎日記者加藤勘十氏外二三名の總裁で友愛會の協同運動に依つて主張を支持し

團 體の結束を圖つて居たが今兩會幹部の召喚檢束に依りて主腦部を失ふたる勞働者側は其の行動の上に大なる不便を感ずるに到るは明白であらう

柳河名產の
鰻の如く

相變らずのらりくらり 不得要領な長官の回答

◇**今回** の盟休に際し製鐵所側で職工側の調停として國粹會より盡力したき旨申込みありしも事情に依り受付けざりしも今回小倉國粹會石野辨策氏の誠意ある意見に依り五ヶ條の要求問題を左の如く輕減讓步して石野氏より長官に提出方を委託した廿七日午後二時中央區中本町友愛會出張所に於て齋藤警察部長同席にて左の通り決議し直に製鐵所事務所に至つた

第一條 及第五條は此の際責任支出を以つて實行せられたき事

第二條 現在の方法にて可し但し四月一日以上延引せざる事

第三條 時間問題は打合會に於て研究會を開かれ居る間なるが館迄十時間制にせられたき事、但四月一日迄に實行せられたき事

第四條 宿舍問題は一ケ年千戸築造の責任ある回答せられたき事

一、休業中の本給と臨時手當、臨時加給等に依つて支給せられたき事

◇**右の** 案件は本事務所長官室に於て齋藤警察部長立會の上にて石野氏外二三名を以て提出したるに長官の回答は時間問題は長官の權限に於て決せらるゝも打合會に於て研究したる上にあらざれば確定し難し又宿舍問題は製鐵事業の旺盛なる今日に於て或は一ケ**年千戸は豫定通りに實行せらるゝ**やも知れざるが兎に角製鐵所の收入如何に依る事なれば斷言し難し

◇**休業** 中の本給其他は之れを支給せずその事にて之以**上製鐵所側に於て讓步の餘地なしと**の回答を發して午後四時友愛會支部に引上げたるが各幹事は右回答に就き協議を重ねつゝあり

鮮人の警察襲擊

投石して喊聲

製鐵所能業の際の暴行者中多數の朝鮮人があつた事は職工等の認むる處で官憲としても朝鮮人の行動を注意して居たが二十七日夜一團の朝鮮人は八幡停車場を襲ひ投石して硝子窓を破り喊聲を揚げて解散した

四十萬圓の背任罪 内國通運の一

社長告訴

東京日本橋區蠣殻町一の四海運業村田繁雄は内國通運株式會社長三上豊夷を相手取り背任罪の告訴を廿四日東京地方裁判所檢事局へ提起した「村田は矢吹哲夫と共に内國通運會社深川支店の船舶不動產動產全部を買受け三上に共保管方を依頼して置いたところ此程に至り矢吹と三上とが村田に無斷で全部を他に賣却したので村田は損害四十萬圓を受けた結局三上に背任の所爲がある」と云ふのが村田側の告訴理由で事件の取調べが進むに從ひ有力なる某氏にも及ぼすとも傳へらる

福岡縣下中等各學校卒業式

日割の決定

福岡縣下に於ける各中等學校卒業式期日は左の如く決定したり

▲三月六日中學傳習館▲八日中學修猷館小倉中學▲九日中學明善八女中學▲十日豐津中學嘉穗中學▲十一日朝倉中學小倉工業▲十二日東筑中學福岡工業▲十九日久留米高女大村高女▲二十日小倉高女直方高女浮羽高女福岡農業▲二十一日京都高女嘉穗高女門司高女▲二十二日福岡高女柳河高女▲二十四日小倉師範▲二十五日福岡師範▲二十六日福岡女子師範

一週忌を迎えたる崎廣業氏未亡人

國粹會中に入る
調停を拒絕

して嚴然たる長官ドノ

◇**小倉市** 於ける國粹會石野氏は八幡製鐵所と勞働者間の爭議を仲裁すべく二十七日齋藤警察部を通じて交渉の端を開き本町友愛會出張所にて小島檢事齋藤警察部を通じて交渉の端を開き本町友愛會出張所にて小島檢事齋藤警察部長立會の上野村酒見古賀の三氏は國粹會の幹部なりとて同行し

◇**八幡市** の消防組頭岡本三木藏氏其他小頭等列席勞働者側の代表者友愛會に木村錠吉勞友會は加藤勘十坑夫協會の河島眞二の三氏實行委員一同と會見し從來の行動に對し當市內一般の不安の念に襲はれつゝある事を述べ將來も相變らず此の如き粗暴のなき樣にその

◇**注意を** 與へ且つ仲裁なるものは双方の讓步の出來る限り讓步を強ひねばならぬ就ては御任せ下さる以上は如何なる程度迄讓步又其條項を承はり度しと之に對し木村氏は東京に於ける大臣との會見談話交換顛末及び長官との會見事情等を詳細に陳述し

◇**最後に** 旣に遂に解散せられたるにつき要求條件中改訂を要する點も之有左の通り改訂した第一第五の給與に關することは長官に於て責任支出の方法を以て出來得る丈け速かに實行せられたき事 但遲くとも四月一日より是非實行せられたし

第二時間問題は緊急に議を開き出來得る丈け速かに實行せられたき事

第三住宅問題は一ケ年に二千戸以上を新築すると云ふ事を責任を以て言明せられたき事

附記今回の休業は製鐵所の命令に出でたるものに付職工職夫全部に對し本給並に臨時手當臨時加給總てを支給せられたき事午後一時會見の局を結び晝食後長官に會見を求め仲裁の申入をなすことゝなりたる結果國粹會の調停案に對し白仁長官は之を拒絕した

二十年間穴に棲む人間

高知縣香美郡佐岡村倉橋治太郎は山林鑑賞の爲め關係者と共に人跡絕えたる山林中に入りしに怪しき人影あり甘藷を作りあるより不審を起し附近を詮索せるに岩窟中に長髪に掩はれて眼が光り爪長き跣足の仙人的人物を發見し一行は何人なるかを訊ねたる所容易に通ぜず漸く二十年前から孤獨の穴居生活をなし居る旨を答へ共儘深林中に姿を隱したり岩窟には狸と兎の皮あり食物は甘藷のみなるが如く全く原始的生活をなしゐたるものにて村役場の戶籍にはそれらしきものなくこれを聞きたる村民は二十七日大擧して之を探つた（高知發）

東市京電の高壓

三百人馘首

電車全線運轉中止せん

東京市內の電車は二十七日も共に怠業を續け巢鴨線は殊に甚だしきより**電氣局にては種々協議の結果二十七日深更に至り二十八日より同線全部の運轉を中止すると共に從業員三百名を馘首するに決定せ**りされによりて東京全市の電車は二十八日より全線の運轉中止を見るやも圖り難し（東京電話）

東京角筈の專賣局燒く

廿八日午前二時四十分府下江戶橋角筈專賣局構內事務所より失火し折柄降雪霏々たる中を**南倉庫を燒き盡し本館に燃え移り今尚ほ燃えつゝあり**附近には水道局新宿驛中小學校東京女子大學等ありて頗る混雜を極めつゝあり（東京電話）

英米の成金振

一千萬圓以上の收入者で 九百八十一萬圓の稅金あり

物價騰貴の今日六百圓から所得稅が掛かるとあつては多少割引があるにしても餘りに殘酷たとあつて所得稅法案の課稅點を引上げやうと云ふ論もある日本では人間の命の綱たる

◇**食糧の高價** なる事世界一と謂つてもよい例へば米國で一斤二十六錢の砂糖が日本では五十五錢する同じく上牛肉七十錢が日本では一圓、七十錢の鷄肉が日本では一圓八十錢內外八錢の玉葱が日本では二十錢と云つた相場でパンは二斤半二十三錢日本では三十錢內外する英國なども同樣牛肉は四十四錢と云ふ相場である

◇**生活は日本** より樂な筈であるそれで英國などは所得稅は千二百圓以上に課稅して居る其の上細君のある者子供のある者などそれぞれ割引がある少い收入者には非常に寬大であるが收入の多い者に對する課稅の遞增率は非常に高い假令は日本では十萬圓には二萬三千圓五十萬圓になると十三萬五千圓百萬圓には

◇**三十萬圓と** 云ふ額になるが英國では五萬圓の所得稅は一萬七千八百七十圓十萬圓には四萬千八百七十圓五十萬圓には二十五萬千八百七十圓百萬圓には五十一萬千三百七十七圓と云ふ稅が掛かる日本に比較すると富豪稅は殊に高いのである米國の百萬長者と云ふのは一昨年の統計では一萬九千百三人で戰前には七百五十人しかなかつた戰後は

◇**一萬二千人** も增加して居ると云ふ勘定で其の中六十七人は年二百萬から三百萬

秋風ぞ吹く造船界

大阪の木津川と尻無川沿岸 眞先に不景氣襲來

不景氣は先ず造船業の上に襲來した歐洲大戰の半から船腹不足から造船業の發展を促して大阪には雨後の筍のやうに造船會社の族生を見た其中心地は港の南東木津川と尻無川とに挾まれた泉尾一帶の埋立地であつた當時其附近では

◇**職工募集の** 貼札を夥しく見た大正七年上半期には五十餘箇所に貼られてあつた粗造な急築つた砂地にはバラック建の工場が續々現れそれを當込みの商店も出來職工の住宅も軒を並べた大阪に

新しい 今では の下半 に悲觀 五 閉ぢた 鎖相次 十餘の は三分 而も木 田の各 々たる には只 み音も 去つた した

◇我日 神と賴り 怨をまし 名刺を渡

◇冲臨 亂は實に の家族を 司令部に らず世が を背景に 我守備隊 入る狀・ けて、敬

在浦鹽兵 本社記者 今月初旬 暴動勃發

我が

澳門に佛 事業に從 各飛行家 時に空中 歐洲戰場 ると同時 「自分は

◇バー 馬尼剌間 に郵便飛 行は支那 に向かふ 飛行家及 オルター

◇空界 過般桑港 郵船會社 十四年米 得た

横

四十九萬圓の收入 ふ一千萬 の平均 五千四百 國の長者 本の百萬